タイトル（16pt）

所属／学年：

氏名：

本稿では，…　アブストラクトを200-400字程度で記述ください

1 はじめに

このファイルはMicrosoft　Wordを利用して作成する原著論文のサンプルファイルである．

2 論文の体裁

2.1 ページ設定

用紙はA4サイズ（210mm×297mm）縦置き，ページ余白は上: 30mm，下: 30mm，左・右: 18mmとする．

原稿は横書きとし，和文には明朝体およびゴシック体フォントを用いる．

ページ数は4ページ（少ないものも長いものも不可）とする．

3 本文

タイトルは16pt、所属／著者名は12ptとし，すべて中央揃えにする．著者名の姓と名の間には半角1文字分の空白を入れる．要旨（11pt,200–400字以内）は左揃えとする．

本文は2段組みとし，段間は7mmとする．最終ページは，片段に文字が集中せず左右の段に文字がバランス良く配置されるよう工夫する．文字サイズは11pt，行間は15ptとする．

4 図・表について



図1　図のサンプル

図・表は原則として最初に本文中で引用したページ内に配置する．**図1**，**表1**のように図表番号を付け，タイトルとともにキャプションとして図は下部，表は上部に記す．図表番号部分はゴシック体・太字，タイトルは明朝体で表記する。

表1　表のサンプル

	列1	列2	列3
行1			
行2			
行3			

4.1 数式について

複雑な数式は，各種の数式作成ツールを用いて作成することを原則とする．数式の例を以下に示す．

$$s^2 = \frac{1}{n-1}\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2 \qquad (1)$$

5. おわりに

本稿では，…

参考文献

参考文献は経営情報学会学会誌執筆要項第6条に基づく書式とする(2019年度変更)。

(1) 鈴木一郎「SISの原理」『MISジャーナル』第1巻，第1号，1992年5月号，10-20ページ．

(2) 鈴木一郎『SISの原理』，MIS出版社，1998年．

(3) 鈴木一郎「情報資源管理の機能」，中村肇編『MISの歴史的変遷』JASMIN出版，1998年，123-157ページ．

(4) Emery, J.C., “The Principles of SIS,” *MIS Journal*, Vol.1,No.1,May 1990, pp.10-20.

(5) Emery, J.C., *The Principles of SIS*, MIS Press, 1990.

(6) Emery,J.C., “The Principles of SIS,” in Nakamura, H (ed.), *Historical Process of MIS*, JASMIN Press, 1992, pp.23-185.